

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		土木課		道路整備		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	13	活気にみちた往来の盛んなまちの基盤づくり	2	広域交通体系の整備	2	広域交通網の整備			
事業名	県道改良事業負担金								
予算費目	款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	1	道路橋りょう総務費
	細目	1	道路橋りょう総務費	細々目	1	道路橋りょう総務費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			( )	予算種別	継続	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
市内にある県道の整備は十分ではなく、交通渋滞の解消を始めとして、歩行者の安全確保、運転環境の向上等の安全に対する課題がある。	利便性の向上、交通安全強化を図り安全で快適な市民生活を確保すると共に、道路ネットワーク化を推進し、産業の活性化の一翼を担う。	県道改良事業の推進のため、地元調整などの協力を行う。県事業費に応じた地元負担金を支出する。	
活動指標		成果指標	
県事業負担金		県道改良率	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
18,250千円	1,902千円	90%	85.60%
			成果指標の到達度(B/A)
			95%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)	
支出内訳	負担金	18,250	1,901,294	財(源割内合訳)	国庫支出金	( )		
					県支出金	( )		
					地方債	( )	12,900	1,300,000
					その他	( )		
			一般財源		( )	5,350	601,294	
合計		18,250	1,901,294	合計		18,250	1,901,294	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		0.05	314,000					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
市内にある県道の整備はまだ十分ではなく、朝夕の通勤ラッシュ時の交通渋滞や歩行者の安全等に問題があるが、用地補償交渉の難航や道路財源の縮小により整備が遅れている。	道路財源の確保。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		都市整備係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	13	活気にみちた往来の盛んなまちの基盤づくり	2	広域交通体系の整備	2	広域交通網の整備			
事業名	広域連絡道路整備事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	5	幹線道路対策費
	細目	1	幹線道路対策費	細々目	1	幹線道路対策費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
幹線道路整備を推進することにより、交通渋滞の解消、沿線地域の生活・経済環境の改善、地域の防災機能の向上を図る。その整備計画の早期実施を促すため、国、県対して事業促進の要望をする。		広域交通網の整備のため、国(地方整備局、本省、地元選出国會議員)、県に対し、広域連絡道路事業の予算確保、事業の早期実現を促す。		国、県に対して、広域連絡道路の事業促進を要望する。	
活動指標			成果指標		
要望回数			道路整備延長(小野田湾岸道路)		
目標値(回)		実績値(回)		成果指標の到達度(B/A)	
1		0		100	
目標値A(m)		実績値B(m)		%	
610		610			

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	226	21,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 (100)		226	21,000	
合計		226	21,000	合計		226	21,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
現在、国は直接的な陳情活動を控えるよう指導しているため、積極的な要望は難しい。	陳情活動が可能となった場合は、積極的な要望活動を実施する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--